

今回紹介する新聞記事は、東京日日新聞の埼玉版に大正十年に掲載されたなかから「塙保己一」に関連した記事を抜粋したものです。

## 新聞記事から見た塙保己一の顕彰活動

◆本庄市立歴史民俗資料館  
収蔵資料より◆

### 塙保己一の 遺蹟保存會

新聞記事原文

故塙検校の生家は今尚児玉郡金屋村大字保木野に存続し遺族は農を営み居れるも故人の遺跡としては同村に微々たる墓碑の建設されある外何等後世に伝ふべきものなく著書を始め幾多の遺物は一括して同家倉庫の一隅に雜穀と共に蔵せらるる有様なるが今回同郡教育会主催にて保存の議起り昨十六日開催の同郡教育会役員会に上議されたるが如し而して保存方法に就いて聞くに本県知事を総裁に推薦して塙保己一遺蹟保存會を組織し汎く有識者の賛助の下、寄附金を募集して記念館及功績碑を建設し以て鴻業を後世に伝ふべしと

※東京日日新聞（とうきょうにちにちしんぶん）◇現在の『毎日新聞』（東京）の前身で、明治五年二月二十一日に創刊された東京発の日刊紙

◎原文の誤字は正しい文字に、旧字体は新字体に訂正しております。

東京日日新聞

塙保己一の  
遺蹟保存會  
知事を總裁に  
記念館と功績碑を建つ

故塙検校の生家は今尚児玉郡金屋村大字保木野に存続し遺族は農を営み居れるも故人の遺跡としては同村に微々たる墓碑の建設されある外何等後世に伝ふべきものなく著書を始め幾多の遺物は一括して同家倉庫の一隅に雜穀と共に蔵せらるる有様なるが今回同郡教育会主催にて保存の議起り昨十六日開催の同郡教育会役員会に上議されたるが如し而して保存方法に就いて聞くに本県知事を総裁に推薦して塙保己一遺蹟保存會を組織し汎く有識者の賛助の下、寄附金を募集して記念館及功績碑を建設し以て鴻業を後世に伝ふべしと

塙保己一の  
遺蹟保存會  
知事を總裁に  
記念館と功績碑を建つ

## 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会の会員を募集しています。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では塙保己一先生の遺徳顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。会員のみなさまの日頃のご協力に感謝申し上げます。

塙先生顕彰推進のため今年度も会費の納入につきまして、よろしくお願ひいたします。

みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願ひいたします。

**年会費** 個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

**入会と会費納入の受付場所** 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館（セルディ）

児玉公民館（アスピアこだま内）で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます（ご希望の際には、下記へご連絡ください）。



**発行** 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

**事務局** 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館（セルディ）内

**所在地** 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

**電話** 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょくかい

# 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第38号

令和2年9月号



## ごあいさつ

残暑も日ごとに和らぎ、初秋の季節となりました。

皆様におかれましては日頃より塙先生の遺徳顕彰に対しましては、多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

遺徳顕彰会総会も書面議決により進めさせていただきましたが、皆様に承認をいただくことができました。

私たちは、新型コロナ禍は収まらない状況から長期戦を覚悟し、感染症防止と経済・社会活動の両方に努めなければなりません。

顕彰会では、感染拡大防止に配慮し、縮小となりますが来る9月12日の先生の命日には顕彰祭が開催されますので皆様にご参加いただき、先生に菊の花をお供えいただきたいと存じます。

これからも塙保己一先生の遺徳をさらに広めるよう顕彰事業を推進してまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田信解

体調の確認、座席まわりの消毒などの感染症対策に留意し開催いたします。

## 塙先生の遺徳を偲ぶ 遺徳顕彰祭にぜひご参加ください

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では毎年、先生の命日である9月12日に顕彰祭を行っています。今年も下記のとおり開催いたします。

郷土の偉人である塙保己一先生の遺影に菊の花をたむけ、遺徳を偲ぶ催しにぜひご参加ください。会員以外の方もご参加いただけます。ご来場お待ちしております。令和元年度「顕彰祭」の様子

会 場 セルディホール  
日 時 9月12日(土)  
午後1時30分受付  
午後2時 ~  
内 容 主催者・来賓による献花  
来場者全員による献花



※開式前に、ほがらかむさし子宝合唱隊による「保己一先生 日本を見す」のDVD上映と、200回忌法要の様子を上映いたします。

## 【塙保己一先生没後200回忌記念事業】のお知らせ

<総検校塙保己一先生遺徳顕彰会・本庄市市民総合大学連携講座>

【第1弾】開催日：9月19日(土) 会場：セルディホール

(1)午後1時30分～2時

講師：塙 正一 先生  
演題：「素顔の塙保己一」

(2)午後2時30分～3時30分

講師：講談師 宝井 琴梅 氏  
演目：「愛の巾着袋」

【第2弾】開催日：10月24日(土) 会場：セルディホール

(1)午後1時30分～3時

講師：公益社団法人 温故学会 理事長 齊藤 幸一 氏  
演題：「塙保己一先生 江戸ゆかりの地をめぐる」

※例年、本庄市市民総合大学との連携講座で「塙保己一先生江戸ゆかりの地をたずねて」バスツアーを計画しておりましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

## 第14回塙保己一賞が開催されます

日時：12月19日(土)午後1時～

場所：児玉文化会館 セルディホール

郷土が生んだ偉人「塙保己一」のように、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている方や障害者を献身的に支援している方を表彰する「第14回塙保己一賞表彰式」を開催します。(埼玉県主催・本庄市共催)。

表彰式のあとには、障害を持った方による記念コンサートや講演が開催されます。



元年度  
「塙保己一賞」  
の様子



群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」から「塙保己一ことども」と題した小冊子が刊行されました。温故学会のご協力により、掲載させていただくことになりました。子供からお年寄りまで、読みやすくわかりやすいお話をなつております。



齊藤幸一氏

## 塙保己一ことども

(提供・公益社団法人 温故学会)

### 第八編 『群書類従』版木は残された

『群書類従』の見本版「今物語」が刊行されたのは、天明6年（1786）でした。それから版木の製作は順調に進んでいきますが、寛政4年の大火により和学講談所ならびに版木倉庫は全焼してしまいます。江戸市中での版木の保管は危険と感じた保己一は移転を幕府に願い出ます。

すると寛政10年、品川御殿山に千坪の土地を拝借することができます、門人である石原正明を管理人としておき、摺り立ても始めました。しかし、幕末の万延元年にイギリス公使館建設のために拝借地返還の命令がきます。二代目忠宝は代替地である深川を視察しましたが、湿気が多く版木の保管に適さない旨を伝え、江戸城内に保管されることになりました。慶応4年、和学講談所が廃止されると塙家では管理することができず、明治9年三代目忠韶（ただづぐ）は浅草文庫に献納します。

その後、内務省、内閣文庫、さらに帝国大学の管理下に置かれ、一時所在がわからなくなります。偶然明治42年に発見され、四代目忠雄が温故学会を立ち上げることで版木は再び塙家に戻ります。早速、愛染院（保己一菩提寺）の境内にレンガ造りの倉庫を建設、保管することができましたが、関東大震災で版木倉庫は倒壊、危険な状態となりました。

温故学会は、渋沢栄一に相談、耐震耐火の版木倉庫を建設し、昭和2年すぐさま移しました。昭和20年5月の東京大空襲を受け、付近は火の海となりましたが、決死の消火活動により版木は焼失から免れました。幾度となく危険をくぐり抜け、版木はすべて温故学会で守られています。

## ○令和2年度顕彰会総会は、書面議決で実施しました。

令和2年度総会は書面議決について次の通りご報告いたします。

提出者 通知者745人中、254人提出

議案第1号～議案第6号 賛成254 反対0

すべての議案について、多数の賛成をもって可決されました。

また、200回忌の記念事業として「顕彰活動のあゆみ」の小冊子を発行します。

## ○「The Story of HANAWA Hokiichi」を作成しました。

本庄市内外在住の外国人及びインバウンド客を対象に、埼玉県の三偉人の一人である本市出身の塙保己一の生涯と偉業を漫画や写真を用いてわかりやすく紹介した英語版パンフレットを本庄市で作成しました。

また、わかりやすい英語を使用している為、高校生の英語の学習に役立てていただくよう、市内高等学校に配布しました。